

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		共有のスペースは事前に使用時間を調整している。感染予防や安全対策のため人数や時間等を制限して実施した。	プレイルームやロビー、プールなどの共有スペースは、今後も感染予防や安全に留意して適切な使用を継続する。
	② 職員の配置数は適切である。	○		配置基準以上に職員を配置している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされている。	○		環境調整や構造化に努めている。	児童ひとりひとりに合わせた環境調整や構造化を行い、児童の変化や成長に伴い細やかな調整に努める。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	○		コロナが5類に移行したが、保育室や共有スペースの清掃、整備、消毒を継続。また遊具や玩具の清拭、消毒も同様。机の配置、スペースマット、衝立等を活用してわかりやすく活動しやすい設定に努めている。	感染予防対策のため消毒や換気等は、今後も継続していきたい。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している。	○		事務分掌や広報・衛生・虐待防止等の各委員会及び行事や係の業務も職員で分担し、職員会議やクラス会議、給食会議等で目標設定と振り返りを行い、業務改善に取り組んでいる。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		保護者アンケートにより把握できた保護者の意向は、職員会議等で周知して全職員で改善に努めている。	日頃より連絡票や面談、懇談会等でも意向の把握に努める。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		ホームページ等で公開している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		長崎市から指定管理委託のモニタリングを受けている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		年間計画に沿ってセンター内外の講師を招き月1～2回職員研修を実施し、復命伝達講習やワークショップ、教材研究にも取り組んでいる。	
適切な支援	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		利用開始時のアセスメントを丁寧に行い、関係機関からの情報を踏まえて保護者と子どものニーズ、課題、現状について支援会議で協議して支援計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○		関係機関からの情報と合わせて、アセスメントシートを作成し使用している。必要に応じてKIDSを活用できるようにしている。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支）」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されている。	○		発達支援については5領域すべてについて現状を把握し具体的な支援内容を支援会議で設定している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		個別支援会議で支援内容の振り返りを行い、必要に応じて見直しをしている。また個人記録用紙に目標を記載して反省会で毎回振り返りができるようにしている。	支援計画にそった支援ができていないか児童発達支援管理責任者から助言指導を受けるようにする。
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている。	○		年、月、週単位で活動プログラムをクラス担任全員で立案している。	活動プログラムについては5領域とのつながりを明確にして立案できるように務める。	

へ 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないように工夫している。	○	他の児童発達支援センターと訪問し合い、活動プログラムについて情報交換を行った。	新たなプログラムや教材について園内ワークショップを継続していきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している。	○	集団に合わせて参加する活動と食事や排泄、着替え等の基本的な生活習慣の自立に向けて個別に取り組む活動を取り入れて支援計画を作成している。	いずれの活動も子ども一人一人の状況に合わせた目標と個別の配慮や手立てを明確にして個別支援計画を作成することを継続する。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○	朝礼で当日の活動について全職員で確認を行い、その後、各クラスで活動の進行や役割、教材・教具の提供の仕方等の細かく打ち合わせをしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○	担任間で一人一人の児童の様子や振り返りを行い気づきを共有している。また活動の設定や進行などの振り返りを行い、次の活動に反映させている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	活動計画・実施記録や個人記録、気づきや改善点も記載している。記録は児発管や園長等の回覧時に改善点について助言を受けるようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○	定期的なモニタリングでは保護者の意向を伺い個別支援計画に反映させている。児童の発達状況や生活環境等の変化によっても見直しを行うようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児童発達支援管理責任者と担任が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	子育てサポート課や子育て支援センター等の関係機関と連携し、療育支援への移行や保護者支援に努めている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	医療的ケア児の支援について、関係機関と協力し、連携できるように支援できるようにしている。	今後、医療的ケア児の支援について行政や関係機関と連携し一層の充実に努めたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	主治医と医療機関、園医等と情報を共有し連絡体制を整えている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	移行支援として療育情報提供書等を作成し、保護者の同意を得て情報提供を行い、見学・訪問、電話等による引継ぎ・情報交換を実施している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	移行支援として療育情報提供書等を作成し、保護者の同意を得て情報提供を行い、見学・訪問、電話等による引き継ぎ、就学後の情報交換を実施している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	他の児童発達支援センターと連携し相互に見学研修を実施し、他の児童発達支援事業所の見学を受け入れている。	今年度より開始した他の児童発達支援センターとの相互の見学研修は今後も継続したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	コロナは5類に移行したが、コロナを含めインフルエンザやウイルス性胃腸炎等の流行のため、感染防止、予防を優先したため、交流保育が実施できなかった。	次年度は、交流保育を実施したい。
	29	自立支援協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	月1回子ども部会に参加している。	

保護者への説明責任等	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡票や電話で、子どもの様子を伝え合い、親子療育や登降園時の時間等も活用して保護者と共通理解を持てるようにしている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		親子通園、単独通園いずれでも実施している。	家族支援プログラムについては、今後も継続していきたい。
	③⑫	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始時の説明と、変更があった場合はその都度、丁寧な説明を心がけている。	児童発達支援管理責任者以外の職員も保護者の質問に対応できるようにしていきたい。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援ガイドラインのねらい及び支援内容に基づいて作成した個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。説明時に保護者から気づきや要望があった場合は見直しを行って再度作成している。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリングや個人面談等の機会以外にも連絡票やアンケート等を活用し、職員から積極的に声をかけて随時対応できるようにしている。	今後も保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、助言と支援に努めていきたい。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		{母の会}の運営に協力し、文書の配布や写真撮影等に協力した。また、年3回懇談会を実施したり、卒園児保護者やペアレントメンターと話す機会を設けたりした。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		意見箱の設置や、連絡票・活動後のアンケートを実施し、保護者が相談や申し入れしやすいように普段から声かけを行っている。相談や申し入れがあった場合はその都度、速やかに園長や児発管に報告し、職員で共通理解を図り改善策について具体的に検討するようにしている。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年間行事予定表や毎月の園だより、行事の際の園だより、学期ごとのクラスだより、前期・後期活動予定表、毎月の予定表等を発行・配布して情報を提供している。	早めの情報提供に努めたい。
	③⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取扱いについては保護者の同意書をもとに十分注意して行っている。	今後も職員の守秘義務を徹底し、個人情報の取り扱いについて掲示や保管等に十分注意していきたい。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		写真やイラスト、文字を活用した視覚支援やサイン等の使用、わかりやすい表示や掲示等の配慮している	一人一人に合わせて意思疎通や情報伝達のための配慮をしていきたい。
	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		防火管理者や児童発達支援管理責任者、衛生委員会を中心に各マニュアルに基づいた訓練（不審者対応の訓練や、嘔吐物処理の手順の確認等）を実施している。	安全計画を含め保護者への周知を徹底したい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間計画に沿って月1回、火災、地震、不審者について防災訓練を実施している。時間帯や想定を変えて実施し、年度後半には予告なしの訓練も行っている。保護者に対しては利用開始時に非常口や避難経路を必ず周知している。	親子療育の全グループで実施できるようにする。

非常時の対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	アセスメントで確認後、保護者に健康チェック票の記入を依頼している。対応が必要な児については主治医の指示書に基づき個別マニュアルを作成している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○	主治医の指示書に基づき対応している。定期的な受診後は結果を保護者と共有している。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	全職員へ朝礼・職員会議等での速やかな周知と報告書の作成を行い、改善策を検討している。報告書は事例集としてまとめて園内で共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	全職員を対象に年1回以上の研修を実施している。同法人内に虐待防止委員会を設置し、虐待防止に努めている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	同法人内に身体拘束適正化委員会を設置して、対応している。今年度は身体拘束の実施はありません。	